※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和８年度　音楽科

教科	音楽	科目	鑑賞研究	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

ミュージカルや音楽映画、舞台作品、さまざまな楽曲などの鑑賞を通じて、音楽に関する資質や批評する力を養います。グループワークやペアワークを通じて、お互いが作品についてどう感じたかをアウトプットする力を高めます。

2　学習の到達目標

音楽作品の鑑賞の学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
⑴音楽作品や演奏、作曲家などについて理解を深めることができる。
⑵音楽作品や演奏について、根拠を明確にして批評することができる。
⑶音楽や音楽文化を尊重する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想や音楽の構造、音楽の多様性について理解する。	音や音楽のもつ要素を知覚し、そのよさや特性、変化、曲想などを感じ取りながら喚起された自己のイメージや感情を、音楽の構造や文化的背景などと関わらせて評価しながら自ら味わう能力を向上させている。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しもうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	舞台作品鑑賞	任意の作品について鑑賞する。	a: 曲想や音楽の構造、音楽の多様性について理解する。 b: 音や音楽のもつ要素を知覚し、そのよさや特性、変化、曲想などを感じ取りながら喚起された自己のイメージや感情を言葉で表現することができる。 c: 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しもうとしている。	ワークシート	ワークシート	観察
	楽曲鑑賞	任意の作品について鑑賞する。	a: 曲想や音楽の構造、音楽の多様性について理解する。 b:音楽の構造や文化的背景などと関わらせて評価しながら自ら味わう能力を向上させている。 c: 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しもうとしている。	ワークシート	ワークシート	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度